



大和市の **今** をお伝えします。

大和市議会議員

町田れいじ 市政報告



メールアドレス:machidareiji@gmail.com

やまと市議会

報告

子どもたちに

「メディアリテラシー教育」を！

テレビやネット、新聞などのメディアを主体的に分析し、読み解いて、活用する能力である「メディアリテラシー」。欧米では、子どもたちがテレビやインターネットに振り回され、親や学校や地域から学んでいくべき基本的な価値観が阻害されることを防ぐために小学校からこの教育が行われています。

日本人はメディアを信用している国民の割合が他の先進国に比べて高く、大人でもテレビの言う事を鵜呑みにしてしまうことがあります。本来は大人が率先してメディアリテラシーを学ばなければいけないのですが、まずは学校教育の中で子どもたちに教え、



▲6月定例会一般質問のようす

家庭に持ち帰って身近な家族と話しあってもらうことでメディアリテラシーを広げていってはどうか、という提案を教育委員会に対して行ないました。■次に示す問題は議会で私が例として挙げた子ども向けのクイズです。

Q1 どうしてNHKにだけCMがないのでしょうか？

Q2 どうして「戦隊もの」の番組は1月までで終わり、2月から新シリーズが始まるのでしょうか？

Q3 なぜ「7・54」などと半端な時間に始まる番組があるのでしょうか？

子どもたちはこのような問題を家庭などで大人と考え、話う中でメディアの性質を理解していきます。※答えは私のホームページ (<http://reiji.info>) をご覧ください。

また近年、民放連やテレビ局、NPOなどがメディアリテラシー教育のための出前講座等を提供していますので、これら民間の資源も活用することなども併せて提案しました。

言うまでもないことですが、メディアは時々間違いを犯します。またメディアは意図的に情報を操作し、多くの場合、物事の全部を伝えてはくれませ

ん。あくまでもメディアは目的のために利用すべき手段であって、決して主体ではありません。判断するのは私たち、個人なのです。子どもたちが適切な判断力を身に付け、メディアに流されて自分を見失うことがないように、またネットに潜む危険から自らを守れるように、今すぐにもメディアリテラシー教育を始めるべきです。

(詳細は市役所ホームページ内「市議会」のページもしくは八月一日号の「議会だより」をご覧ください)

今年度の所属

三年目を迎えた今年度は、引き続き「文教市民経済常任委員会」(教育問題、商店街の活性化などの地域経済問題、国民健康保険などに関する事を審議します)、「都市整備対策特別委員会」に所属します。議会報編集委員会も委員長として留任します。また今年度から大和市社会福祉審議会の委員と議会運営委員会の委員も努めます。

被災地支援活動報告会 & 防災講習会を行います！

私の所属する会派「明るいまらい・やまと」は昨年、三・一一から一年を機に「防災講習会」を市内五カ所の学習センターで行いました。今回は「学校防災」にトピックを絞った講習会に加え、これまで続けてきた被災地支援活動の報告会も行います。また今回は震災以来、現在まで陸前高田市で活動が続けてきた古谷田議員(大和クラブ)もゲストスピーカーとして参加します。

私は岩手県から福島県まで広範囲、複数拠点で活動してきましたが、一カ所に留まり地元の方々と継続的な関係を築いてきた古谷田議員のお話もまた違った被災地の姿を私たちに教えてくれることと思います。入場料は無料。申し込みも不要です。皆さまどうぞお気軽にご参加ください。

明るいまらい・やまと

防災講習会 & 被災地支援活動報告会

「3.11を忘れない」～これまでの被災地での活動を振り返り、
現地で得た教訓を大和市の未来に活かすために～

日時 8月25日(日)

場所 15:00~16:30 生涯学習センター 204号室
18:30~20:00 林間学習センター 201会議室

※予約は不要です。入退出も自由ですので、どなた様もお気軽におこしください。

<http://reiji.info>

大和のこと、日本のこと、日々感じることを随時更新していきます。是非、ご覧下さい。



My Blog

HPのブログも更新中

町田れいじ近況報告

被災地を訪れて

三・一一から二年が経ち、被災地の復興が次第に進む中で、現地のボランティア団体もその多くがすでに撤退しています。一方で復興の地域差もあり、復興はまだまだこれからという地域にお住まいの方々は、国民が急速に被災地への関心を失っている事に危機感と寂しさを募らせています。特に高齢者だけの世帯などの場合、震災で多くを失ったものの、ボランティアとして全国からたくさんの方が被災地を訪れ、そこで生まれた新たな人間関係が生きる支えになっていた場合も多くありました。今、ボランティア団体が撤退する中で、その人間関係も失われていき、再び大きな喪失感を味わう「心の二重被災」と言うべき状況がおきています。「いつかは別れの時がくる」それは被災地の方々もボランティアもお互いにわかっていたことです。そこで昨年半ばからは被災者同士のコミュニティの再構築支援が各地のボランティア団体の大きな使命となっていました。ところが、これには相当の時間を要し、多くの団体が資金やマンパワーのやりく



▲2011年5月の石巻

▲現在の石巻

特にこの日訪れた牡鹿半島での活動は二〇一一年七月以来、二年ぶりのことです。現地では津波で壊滅した牡蠣の養殖場の支援を行ないました。このお宅では震災前に比べ様々な不自由はあるものの、昨年の冬にはわずかながら牡蠣を出荷できたそうです。しかし周辺では現在、住宅の高台移転が急ピッチで進められており、川から流れてくる栄養で育つ牡蠣への悪影響が懸念されるなど新たな問題もおきています。



▲牡鹿半島の牡蠣養殖のようす



年に六回ほど自治会を通じて皆さまのポストにお届けしている「議会だより」一人でも多くの方々に読んでいただけるような紙面づくりを目指して、昨年に引き続き編集委員会の委員長を務めています。八月からは配布してくださっている方々の負担軽減のため二つ折りにした上で自治会にお届けすることや、デザインの一部を変更するなどのマイナーチェンジを行う予定です。是非ご覧いただき、ご意見をお寄せ下さい！



議会だよりの刷新に向けて



▲大破したままの橋（南三陸）



▲保存加工された「奇跡の一本松」（陸前高田）

をあげたりした小学校の横を通りました。今は通う子どもの姿も無く、ひっそりとたたずむその姿に失ったものの重さと復興への道のりの遠さを改めて感じました。時が経ち、世の中は変わっても、私たちの心のどこかに東北への思いは在り続けなければならぬと思います。まだまだ始まったばかり！

がんばろう東北、がんばろう日本！！

編集後記

今回も市政報告をお読みいただきましてありがとうございます。

6月議会では「子宮頸がんワクチン」「憲法96条改正の是非」について議会内で大きく意見の分かれるところとなりましたが、私は従来から大切にしてきた「まず子どもたちの未来のために」という視点に立ち、賛否を決めました。限られた紙面ではなかなかお伝えしきれないところもありますが、ぜひ皆さまのご意見・ご質問をお聞かせ下さい。

また本年5月で市議会議員としての働きも3年目を迎えました。市議会議員の任期は4年ですので折り返し地点を過ぎたことになりました。あと2年しかないと思うか、まだ2年あると思うか。ある時は前者、ある時は後者の思いであるというのが正直なところですが、いずれにしても残された時間を全力で走り抜き、「次期も引き続きやらせてやろう」と思っていただけのように、がんばって参ります。

プロフィール

- 1980年 4月24日 大和市生まれ
- 1986年 大和市立若草保育園卒園
- 1993年 大和市立西鶴間小学校卒業
(学童保育わんぱくクラブに6年間在籍)
- 1996年 大和市立南林間中学校卒業
- 1999年 ケンブリッジ高校（ニュージーランド）卒業
- 2003年 武蔵大学社会学部社会学科卒業（社会学士）
- 2004年 結婚
- 2006年 共立基督教研究所専門研修課程修了（人文学修士）
高座みどり幼稚園にて4年間幼児教育に従事
- 2011年 市議会議員に当選

ライフワーク：ボーイスカウト活動・YMCA
趣味：サッカー・歴史・ボウリング

所属

- 会派：「明るいまらい・やまと」
- 委員会：文教市民経済常任委員会
都市整備対策特別委員会
議会運営委員会
議会報編集委員会（委員長）
大和市社会福祉審議会



発行 町田れいじを支える会

会員募集中

町田れいじの活動を応援して下さる方を募集しております。会費は無料です。お申し込みはホームページ、もしくはハガキかFAXにて。直接お電話いただいてもOKです！

〒242-0005 大和市西鶴間6-13-12 TEL:046-283-3455 FAX:046-273-4175

「やまとスタイル」その他の政策はWebをご覧ください。

<http://reiji.info>

E-mail : machidareiji@gmail.com



メールマガジン配信中
「GO!GO!れいじ!~町田れいじの市政報告~」
市政報告やイベント等の情報を配信するメルマガです！

「まぐまぐ!」で「町田れいじ」と検索してください! まぐまぐ!→<http://www.mag2.com/>